

平成29年度 対策一覧表

【国府小学校】

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容等	対策初年度
1		石神台東公園前横断歩道	見通しの悪い横断歩道であり、下り坂の車がスピードを出して、大変危険である。一時停止、スピード抑制の路面凹凸、注意を促す看板の増設をご検討いただきたい。	横断者を見やすくするため、横断歩道付近の樹木の伐採を地区の合意がとれましたら実施します。 交通安全啓発看板については、既に複数箇所設置してあり、これ以上増設しても効果は見込めませんので、一部の看板を目立つものに変更します。	H29
2	県道63号線	生沢855-1付近 県道63号線東の池前バス停 向い側	狭い歩道に立っていると走り去るトラックの風圧に大人でもよけてしまうほどです。ずっと直線が続いているため、車はかなりスピードが出ている。カーブにさしかかるとの反対車線のバス停にバスが停車すれば、どちらも視界が遮られ、バスを追い越す車と向かっていく車が事故を起こす場所で通学児童が巻き込まれる可能性が充分にあり危険です。バスの退避所を設け、車が反対車線に出ないようにお願いします。また、通学路としてこの道を通るしかない子供たちがいるので、通学路のガードレールの設置を要望。 (停留所の植木などをなくしてフェンス寄りにバスを停める)	【平成30年1月10日に合同点検を実施】 通学路の変更は難しいため、該当箇所にガードレール設置か路面色塗（＋ポール設置）を実施する方向で協議がまとまりました。 今後、地域（生沢）で対策についての方向性をまとめていただき、その集約結果をもとに町から道路管理者（県道63号なので平塚土木事務所）へ改善依頼を行います。	H29
3		国府本郷908	直進の方は車の量も多いが一旦停止をしないで路地から出てくる車があり危険。止まれの道路標示をつけてほしい。	道路幅が狭いこともあり、道路利用状況を確認して交通安全対策を警察と協議します。	H29
4		国府本郷871	警察署前の横断歩道を涉り、通学路である旧道へダブル横断をする。1号線と平行しているため交通量は少ないがスピードを上げて通る車が多い。「通学路注意」の看板はあるが、下の方へ落ちていたり、向きが変わってしまっているのが現状。横断歩道の設置を希望するが無理であるようならそれにかわる表示等をお願いしたい。	「通学路注意」等の啓発看板、道路表示の設置について大磯警察署と協議して検討していきます。 また、旧道を横断するにあたって、自動車から歩行者を発見しやすくするため、植木の剪定を国道管理者に依頼し、実施しました。	H29
5		国道1号線旧道中丸会館前 国府本郷281	1号線から上へあがり旧道に入る時、中丸会館前を横断するのだが、カーブがあり見通しも悪い。また、若干の下りになっているせいかスピードを出して走る車が多く、児童が横断する際の危険が多いように思われる。旧道に横断歩道や看板等、安全対策を検討していただきたい。	ストップマーク、カーブミラー、交通安全啓発看板、速度規制標識、歩行者用の白線を既に設置していますので、これ以上の交通安全対策は効果が見込めないため、道路利用状況等を観察します。また、地域における通安全教育や見守り活動の御協力をお願いします。	H29
6		黒岩39～670 黒岩公民館のバス停から正 泉寺までの道路	通学時間帯に通勤・ゴルフに向かう車が多く、大型トラックなどが来るとすれちがうときに歩道側に入ってくるため、歩いている子どもが危険である。白線や横断歩道などの一部も薄くなっていて見えにくい。「スピード落とせ」の看板はあるが、通学路であることが一目でわかるようにグリーンベルトをバス停まで設置してほしい。白線や横断歩道の書き直しと黒岩58付近から西久保195付近までのグリーンベルトの書き直しも希望します。	他の場所と合わせて、白線、横断歩道の塗り直しを計画的に検討していきます。	H29